

科目区分	専門教育科目	科目名	国語表現法		科目コード	18Y310	担当者	山本 尚史				
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独				
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
							免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士選択必修				
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育者に必要なことばの使い方や表現方法を学習する							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	母語としての国語に関する基礎的な知識を得る						△	○	◎	◎	◎	△
2.	幼児教育・保育の担い手として、子どもの言葉の発達への理解を深める											
3.	子どもたちの言葉の成長の基盤となる自らの言葉への感性を高める											
4.							△	○	◎	◎	◎	△
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							提出物（30%） 定期試験（50%） 発表内容（20%）					
講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れて行う												
準備学修							課題等への対応					
言葉は日々、当たり前に使っていますが、子どもたちに接する保育者として必要な知識・技能を少しずつ高めていきましょう。そのために小テストを実施します。その復習と、授業で取り上げた内容の復習を行ってください（週あたり30分）。							講義において提出する課題については適宜解説を行い、フィードバックを行う					
授業計画												
第1回	オリエンテーション「国語とは？」											
第2回	言葉とコミュニケーション											
第3回	国語の基礎① 漢字・文法											
第4回	国語の基礎② 敬語											
第5回	言葉による表現方法① 言葉を楽しむ											
第6回	言葉による表現方法② 要点をつかみ伝える											
第7回	言葉による表現方法③ 思考のツールとしての国語											
第8回	幼稚園教育要領、保育所保育指針について											
第9回	領域「言葉」と子ども											
第10回	国語表現の実践① 考えること											
第11回	国語表現の実践② 書くこと											
第12回	素話① 話を考える											
第13回	素話② 伝えることの大切さ											
第14回	素話③ 発表											
第15回	子どもと国語について（ディスカッション）											
試験	定期試験を実施する											
教科書	講義において資料を配布する				受講生へのメッセージ	私たちがこれまで学んできた国語とは何なのか、一緒に考えていきましょう。						
参考書等	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育保育要領』											